

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-4-2
事業名 被災地域農業復興支援総合事業（園芸施設用水確保事業）
事業費 総額（執行額）：70,645,050円（国費：52,983,000円）
事業期間 平成23年度～平成26年度
事業目的・事業地区 沿岸部で被災した農業者を受け入れ、園芸施設や資機材、附帯設備、農業用機械等の整備を行い、組織的な営農を進め、地域農業の復興を目指したもの。 （事業地区：白川内親地区）
事業結果 園芸施設と附帯設備並びに農業用機械等の整備を行い、あらゆる作物の生産を進めることで、多品種生産への転換を図り組織的な営農を行った。 園芸施設の作付場所が水不足のため、遠方から水を引くためのポンプ整備と地下水を利用するための井戸の整備を行った。 ・かんがい用水井戸・排水設備工事（井戸新設 口径150mm 掘削深35m 3箇所、取水ポンプ設置 口径40mm 200V 1.5kw 3基、ポンプ制御ユニット設置 50HZ 200V 開閉器 共 3面、配水管据付本管（50Aホリフレハパイプ）1,216m、配水管据付本管（40Aホリフレハパイプ）639m、ハウス引込配水管据付 VP管40mm 160箇所、ハウス引込配水管据付 VP管20mm～40mm 9,655m） ・内親揚水機改修工事（揚水ポンプ 口径300mm 18.5kw 11.2 m ³ /min 1基、真空ポンプ 20A 0.75kw 1基、給水ポンプ 200W 1基、ポンプ制御盤 15kw×2回路、四角堰 1式）
事業の実績に関する評価 ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価 本市では、露地栽培が主に行われており、ノウハウのある大規模園芸農家と協働で事業を進めたことにより、園芸施設による生産が行われ、季節を問わず定期的な出荷が可能な生産体制の確立と大規模化によるあらゆる作物の生産が可能となった。中でも園芸施設の用水を確保することにより、適切な生育環境が整備され、作物の栽培作業時の効率化と生産及び出荷体制の確立が図られた。 なお、協働で行われてきた同事業は復興が進んだことに伴い、それぞれの地域で新たに生産が行われ、地域農業の復興が進んでいる。 ② コストに関する調査・分析・評価 入札により業務委託契約を締結しており、事業費は適切なものとする。 ③ 事業手法に関する調査・分析・評価 事業完了：平成25年12月 園芸施設と附帯設備並びに農業用機械等の整備が行われたことにより、生産体制の確立、定期的な出荷体制、作業の効率化などが図られるなど、事業手法は適切なものとする。
事業担当部局 宮城県農林水産部農業振興課 電話番号：022-211-2835 白石市建設産業部農林課 電話番号：0224-22-1253